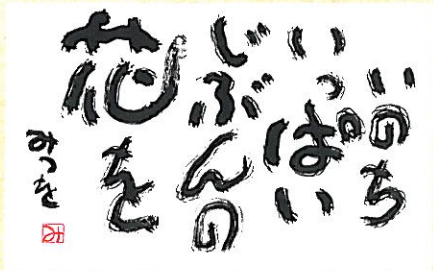
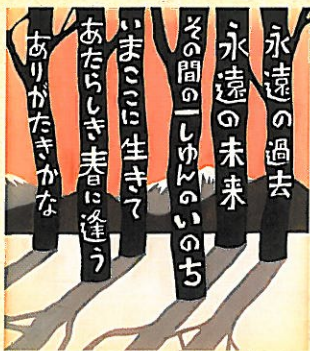


平成 22 年度 米子市美術館特別展  
 こころに響くことば

# 書の詩人 相田みつを展



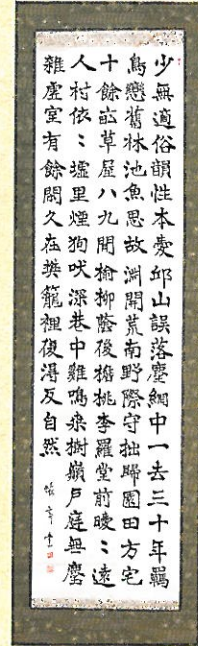
《いのちいっぱい》 1991年 55.0×90.0(cm)



《永遠の過去》 1970年 26.5×24.5(cm)

ここに響く言葉で人々に感動を与え続けている相田みつを。書家として、詩人として、誰のまねでもない「自分の言葉・自分の書」を探求し、「いのち」の重さ、尊さをみつめながら独自のスタイルを確立。数多くの作品を残しました。

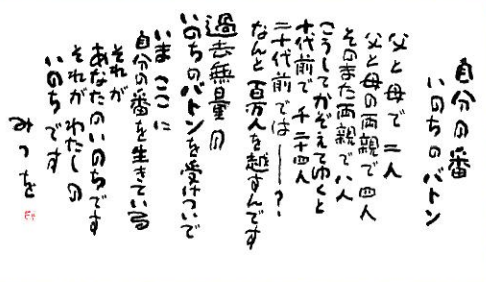
山陰では最大規模となる本作品展では、相田みつを美術館(東京)が所蔵する代表作や初期作品愛用品のほか絶筆となった作品も一堂に公開いたします。何度見てもその度に新たな感動があなたを包みます。どうぞあなたの心に強く優しく語りかける作品にめぐりあってください。



《桐園田居 陶淵明の詩》 1946年 150.5×40.0(cm)



《聖澤雲天》 1944年 134.0×33.0(cm)



《自分の番 いのちのボタン》 1975年 49.5×86.0(cm)



愛用の筆



《門相》 絶筆 1991年 69.5×136.0(cm)

## 〈関連事業〉

### ■ ギャラリートーク

相田みつを美術館館長 相田一人氏  
 日時/平成22年5月7日(金)・23日(日)  
 午前11時～午後2時～ [7日(金)のみ]

会場/米子市美術館 ※要 観覧料

### ■ 記念講演会

相田みつを美術館館長 相田一人氏  
 日時/平成22年5月23日(日)午後2時～(午後1時半開場)  
 会場/米子市立図書館2階大会議室 (米子市中町8番地)  
 定員:150名 ※要 入場整理券及び本展観覧券(半券でも可)

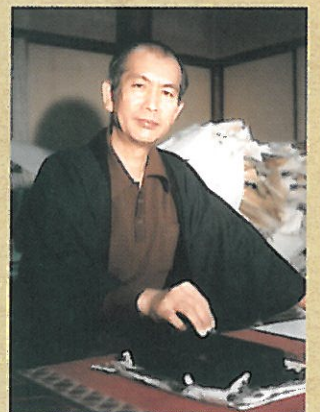
●往復はがきで美術館までお申込みください。(5月11日締切り)  
 ※はがき1枚につき2名様まで応募可(申込多数の場合は抽選となります。)

### ■ 本展関連商品多数販売(会場限定販売)!

※各イベントは都合により変更になることがあります。  
 ご不明な点は直接美術館までお問い合わせください。

## 相田みつをプロフィール

- 1924(大正13)年 栃木県足利市生まれ。
- 1942(昭和17)年 旧制栃木県立足利中学校卒業。歌人・山下陸奥に師事。曹洞宗高福寺の僧侶・武井哲広老師と出会い、在家のまま師事し禅を学ぶ。
- 1943(昭和18)年 書家・岩澤溪石に師事する。
- 1954(昭和29)年 第6回毎日書道展に入選。以後12回展まで7年連続入選。足利市にて第1回個展を開催。全国各地で「自分の言葉・自分の書」をテーマに作品展を開催。独自のスタイルを確立し、数多くの作品を生み出す。「にげんだもの」(文化出版局)を出版。ミリオンセラーとなる。
- 1984(昭和59)年 12月、足利市にて永眠。享年67歳。
- 1991(平成3)年 9月、東京・銀座に相田みつを美術館開館。
- 2003(平成15)年 11月、相田みつを美術館を丸の内・東京国際フォーラムへ移転。
- 2006(平成18)年 相田みつを美術館開館10周年を迎える。
- 2007(平成19)年 相田みつを美術館開館10周年を記念して「全国巡回 相田みつを全貌展」を開催。



八幡町のアトリエにて 1975年



## 米子市美術館

鳥取県米子市中町12番地 (ハビネライフケア文化広場 内)  
 TEL: 0859-34-2424 / FAX: 0859-33-0679  
<http://www.yonagobunka.net/y-moa/>

### 交通のご案内

- JRご利用の場合: JR米子駅から約1,000m  
 JR米子駅前から各方面行きバス(除/松江方面) 米子市役所前下車(所要時間約5分)
- お車の場合: 米子自動車道・米子インターから約20分  
 (美術館横駐車場が満車の場合、米子市役所有料駐車場をご利用ください。  
 美術館ご利用の方は駐車カードを受付にお出しください。2時間以内は無料となります。)

